

第33回秋田市地域公共交通協議会 議事要旨

開催の日時 令和2年11月27日(金) 午前10時から11時15分まで

開催の場所 秋田市役所 第3・4委員会室

委員の定数 23名

出席委員 20名(うち代理出席8名)

会議内容
1 開会
2 会長あいさつ
3 協議
 (1) 第3次秋田市公共交通政策ビジョン等の素案について
4 その他
5 閉会

1 開会
2 会長あいさつ

司会 これより、次第3の協議に入る。協議会設置要綱第4条第2項の規定により、協議の進行を会長にお願いする。

3 協議
(1) 第3次秋田市公共交通政策ビジョン等の素案について

会長 協議3(1)の第3次秋田市公共交通政策ビジョン等の素案について、事務局から説明願う。

事務局 (資料に沿って説明)

会長 協議(1)について質問等はないか。

会長 道路整備と多核集約型都市構造との関係を反映した施策になっていないように感じる。道路整備も都市構造に対して重要な施策なので進めていくのだというような記述を検討してほしい。

また、3環状放射型道路網についても、それを推進することを前提としている印象を受けるので、これから目指す都市構造に対してこの道路網が適しているという説明にすると分かりやすいのではないか。

事務局

説明が不十分な点があると認識している。丁寧に分かりやすく記載するよう調整する。

委員

現在、市内には低床バスは何台あって、今後増やしていく計画はあるのか。

事務局

今年の3月31日時点で、路線バス160台中、低床バスはノンステップバス、ワンステップバスを合わせて139台であり、今後も計画的に導入を進めていく。

委員

良くまとまっている。全体を通して人口減少、中でも少子化が大きな課題だと捉えている。可能であれば「安全安心な子育て環境の整備」といった少子化対策につながるような観点での取組を入れ込めたらよいと思う。

事務局

直接的な記述は難しいかもしれないが、委員の言われた交通安全や道路整備のほかに、交通空白地の移動手段としてタクシーの利用が考えられる。移住者に対しては、本戦略・ビジョンの施策等を通じて公共交通に良い印象を持ってもらいつつ、少子化対策や人口増に寄与したいと考えている。意見を踏まえ内容を検討する。

会長

都市の課題の背景のところで、「高齢化」とあわせて「子育て関連」にも触れてみてはどうか。イラストに追加するのは大変だと思うので、子育て関連の効果等を追加できるのであれば理解しやすい。

委員

新たな道路をつくることも一つの大きな仕事だと思うが、既存道路の活用方法の視点はあるのか。中心市街地の一方通行は、ある時は双方向でバスも含めて乗用車も走っていた。今と比べると当時は歩道に人があふれていた。このようなにぎわいの創出に新たなものをつくることは必要だが、既存の道路の活用も重要ではないか。

タクシーを新たな公共交通の一つの大きな柱とすることはよいが、具体的な内容が見えない。以前から市民は便利さを求めてタクシーを

利用してきた。記述には何ら新しいものはなく非常に残念に感じる。

事務局

既存道路の活用について、中心市街地の相互通行については、市、県、商工会議所等の議論の中で現時点では難しいということは認識している。一方で新しい視点として、ウォークブルや今まで道路であった部分を歩けるようなまちに変換していくこと、人の移動実態データが取得可能になっていることなどを踏まえ、道路交通のあり方等に対応していく。

タクシーの活用については、現時点で具体的な内容を話す段階までは至っていない。ただし、交通網を形成していく中で、高齢者等の自宅からバス停、買物・医療施設等への短距離移動が公共交通のあり方で重要になる。この交通網におけるタクシーを活用した毛細血管のあり方を、事業者、行政、市民でバランスをみながら持続可能な制度設計を検討していきたいと考えている。

委員

現在、学校の統廃合が協議され、今後広範囲から通学することになり、スクールバス等での対応を検討していただいていると思う。

先日、横手北中学校に行く機会があったが、統廃合を重ねていることもあり、駐車スペースがかなりあった。一方で秋田市では学校周辺の自動車の進入を抑制したり、駐車スペースがない状態である。災害発生時に公共交通が機能せず、学校へ自家用車で送迎することも想定されるし、また、学校行事等の際に職場から直接学校に向かう場合も多いことから、駐車スペースの確保についても検討していただけないか。

事務局

教育委員会で適正配置、統廃合の検討を行っている。学校行事等で来校する方の駐車スペースのあり方について、教育委員会にも伝え、検討していきたい。

会長

総合交通戦略P32の1(5)自転車利用環境の整備で、「市民等が自ら提案し行動する」とあるが具体的にどのようなことを想定しているのか。

事務局

第2次計画に自転車愛好者団体等が自転車走行しやすいルートをマップとして作成した実績の記載があり、このような取組を想定している。

会長	2次の際にはあったが、今回施策から落としたのか。
事務局	落としたわけではないが、現時点ではその動きが見られない。 しかし、秋田県自転車活用推進計画で自転車愛好者団体が挙げられているため、これらを参考にして整理を行う。
会長	施策の体系に記載があり、目標の実現に向けた取組にないと違和感がある。引き続き検討をお願いしたい。
会長	P D C Aについても実施するだけでなく、可能であるならば具体的な時期を記載した方がよいと思うので検討していただきたい。
事務局	市役所の予算管理として、4月から始まり、4～6月でチェックをして、見直しの方向性を出した上で夏に翌年度予算の頭出し、秋には予算要求というサイクルである。これを踏まえた上で時期について検討する。
会長	協議（1）について、本日の議論を踏まえて一部内容を検討する部分もあるが、その内容については事務局と私で確認させていただいて修正するという事で承認してよいか。
委員一同	承認
会長	以上で本日の協議を終了する。
	4 その他
	なし
司会	以上で本日の協議会を終了する。